

(4) 弓削道～大栗峠



⑯弓削道登り口。集落の奥の谷川に古い木橋がかかっており、そこから尾根にとりつく。橋は老朽化している。



⑰弓削道登り口から約 200m。斜面を切り返す道が終わって尾根に乗ると、深い堀りの古道があらわれる。



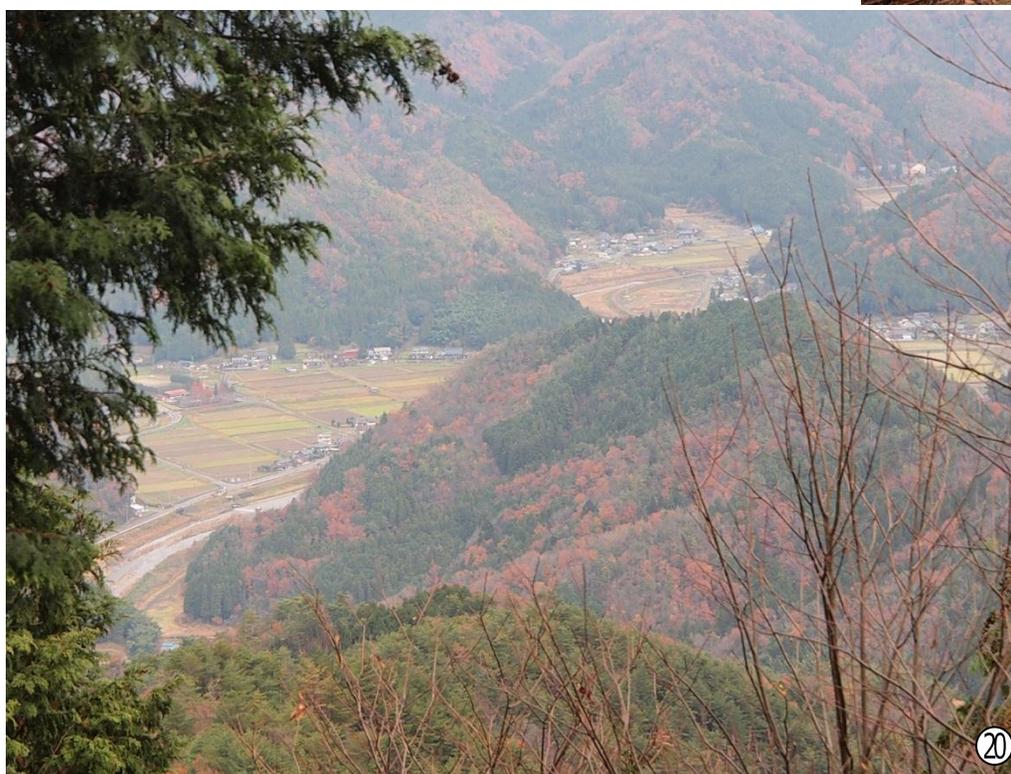
⑱弓削道登り口から約 600m。瀬尾谷への道が分岐する。



⑲弓削道登り口から約 1,000m。深さ 5～10m に掘られた古道が続いている。

⑳山田道合流地点まで 50m。京都府あやべ青少年山の家や旧奥上林小学校付近が見える。雑木の枝を伐採すればさらに展望がよくなる。

㉑大栗峠の西、三角点のあるピーク。峠道との標高差は数十 m であり、大きな困難なく山頂に立つことができるが、展望はない。雑木の枝の合間から西方の十倉方面が見えるので伐採等で展望は良くなる。



(5) 大栗峠～志古田道



②峠の谷より西の斜面を降りていく。途中、炭焼きの跡らしい大きな穴もある。小さな谷々の合流点で道は谷を東側へまたぎ、右岸の斜面へ移る。右岸の斜面へ移ることを見逃さないように。



③峠から約 900m。急斜面の道が崩壊しないよう、石垣で補強した箇所がある。



④峠から約 1,300m。大規模な崩落により、古道が寸断されている。

⑤峠から約 1,700m。右岸にあった道は、標高 350m 付近で左岸に移行し、林道終点まで左岸の道が続く。

【古道をめぐる思い出の情報交換】

日時：平成 24 年 2 月 5 日（日）14 時～17 時 於：綾部市観光センター研修室（綾部市八津合町）

- ・昭和 18 年旧和知町乙見から上林に嫁いだ。時々里帰りをしたが、おおよそ上林を 10 時に出発して、12 時に和知に着いていた。帰りも、和知を 14 時発、上林 16 時着といった具合である。今考えれば大変なことをしていたと思う。
- ・兄が高等小学校のとき旧和知町から光明寺に遠足にきた際、志古田道からの帰りに道に迷い遅くなり大騒ぎになったことがある。
- ・鳥垣林道の先シデの山から大栗峠までは約 30 分でいける。旧和知町上栗野との交流もある。昭和 55 年頃綾部及び和知に山の家が整備されたのを機会に峠道の整備がされた。洞峠で美山町と交流されているように旧和知町と交流できないかと模索している。
- ・昭和 5 年生まれの 81 歳である。18 歳の時（昭和 22 年）上栗野で 18 戸焼失の大火事があり復興の応援に行った。製材所がなく山で柱を作ったりして大変であった。
- ・3 ルート中、弓削道が本道と記されている本もある。志古田道が最短距離だと思うが、谷道で崩れやすい。
- ・古道に関わる峠に舞鶴市の住民の方も興味を示されている。